


地域での取り組み

より良いまちへ

市民生活の向上へ

1. 正雀本町商店街の交通安全対策


令和5年3月、市民の方から正雀本町商店街の交通安全対策の相談を受け、市に要望したところ、一方通行入口に「徐行」の標記と、フラワーストップキミヤの前の「止まれ」の標示を新しいものに貼り替えてもらいました。



(徐行の標記)

2. 鶴野苗圃前の交通安全対策


令和5年2月、鶴野苗圃近傍の川沿い道路のT字路において、右側からの車両が確認しづらい上に、多くの車がスピードを出しており、危険を感じるとの市民の声を踏まえ、市に对应を依頼しました。その結果、道路反射鏡を設置して頂きました。



(カーブミラーの設置)

3. 南別府鳥飼上線交通安全対策

令和5年3月、淀川沿いにある市道南別府鳥飼上線(一津屋)で、車両のスピード抑制対策で、ハンパが2箇所、市によって設置されました。これは、この市道を利用する歩行者や自転車等の安全を確保するためです。



車両のスピード抑制のため市はハンパを設置(味生神社前)

この交通安全対策は、3年前から地元自治会と市とそして警察を含め協議されてきたもので、私も地元自治会と協力して協議の場に入ると、対策について進めてまいりました。

地域のお困りごとを少しでも解決できるよう取り組んでいます。

地域を守り、未来を育む！

学力格差は連携で防げ！
一貫教育の
取り組み強化
非認知能力の向上
活かされない
大阪北部地震の教訓
甘い危機管理意識
進んでいるの？
PFOA対策
現状の取り組み
地域での取り組み
市政状況

新型コロナワクチン接種

260人を超える死亡認定

副反応と思ったら相談を！

松本あきひこ
通信 Vol.11 令和5年10月発行

事務所 摂津市別府 1-4-6-505
TEL 06-6349-2515

自民党

摂津市議会議員



市政状況


1. 鳥飼小学校と鳥飼東小学校の統合へ

教育委員会は、摂津市立鳥飼小学校及び鳥飼東小学校の適正規模・適正配置等について協議を進めてきました。そして鳥飼小と鳥飼東小を統合する結論に至り、計画案を議会での9月に提示しました。案では統合期日は令和8年4月1日です。今後、スクールバス等、より具体的な議論が行われます。

2. 公共交通の在り方検討会の開催

別府や南別府、また鳥飼地域でも多くの市民の方々からご要望がある公共バス等の更なる利便性向上について、議会でも私を含め、多くの議員が提言しています。

市は、「公共交通の在り方検討会」を開催し、有識者の助言ももらい、持続可能な交通サービスの実現に向けた検討を進めています。引き続き、利便性向上に向けて提言して参ります。



ご挨拶

紅葉の季節。ようやく暑い日々が過ぎ去ろうとしています。皆様はいかがお過ごしでしょうか。

さて、ご報告です。さる9月28日の議会の役員改選で、副議長の役職を担うこととなりました。若輩者ではございますが、市民の意見をしっかりと反映する議会の円滑な運営に全力で取り組んでまいります。また、市政等へご要望等ございましたら何なりとご相談ください。

摂津の実りある改革に取り組んでいます！

プロフィール
松本 暁彦
まつもと あきひこ
摂津市議会議員



●昭和58年生まれ ●関西大倉高校卒業 ●香川大学農学部卒業 ●陸上自衛隊(退職時1等陸尉)、東日本大震災・PKO(ハイチ)で派遣活動に従事 ●前衆議院議員とかしきなおみ事務所元秘書 ●MBA(関西学院大学経営戦略研究科卒業) ●消防団 ●予備自衛官 ●座右の銘「時かめ種は生えぬ」

ホームページ



この資料は摂津市議会等での活動をまとめたものです。

新型コロナワクチン接種での健康被害

死亡認定 269人 (2023年9月22日現在)

1. 増え続ける健康被害

国の予防接種健康被害救済制度において、新型コロナワクチン接種では、令和5年9月22日に50名が一挙に死亡認定され、これで死亡認定の累計は269人、健康被害認定数は4,350件となっています。

新型コロナワクチン接種により、高齢者だけでなく10代の若者や基礎疾患を有していない健康な方も死亡認定を受けている状況です。

新型コロナが5類に移行した以上、異常な健康被害数の実態を踏まえ、新型コロナワクチン接種は一旦中止し副作用を徹底検証すべきです。

また、秋開始接種の新型コロナワクチンXB.1.5は起源株ワクチンと同品質で、かつマウスでしか実験されておらず、健康被害が止まる理由は見当たりません。

健康被害は増加するばかりで、もはやワクチン接種はデメリットしかありません。

それでも打ちますか？

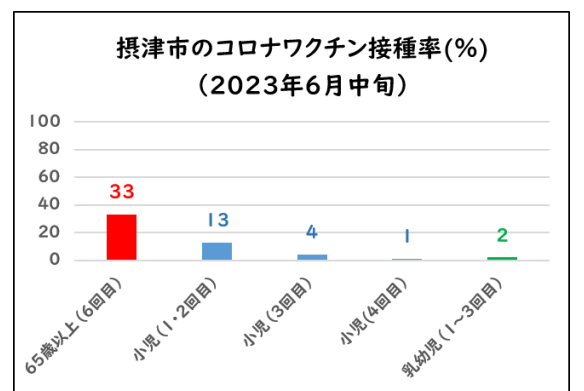
新型コロナワクチン接種もはやデメリットは明らか！

コロナワクチン接種の健康被害認定事例の紹介 (2023年9月22日審査結果抜粋)

①19歳 男性 急性心筋炎(死亡認定) ②54歳 男性 急性大動脈解離(死亡認定)
③76歳 男性 突然死(死亡認定) ④92歳 女性 急性心不全(死亡認定)

健康被害認定 4,350件、未審査約4,000件(救済制度開始以降、過去最多の健康被害)

この資料は市議会議員松本暁彦の政治活動等の報告です。



2. 問われる市の姿勢

上記表は本市6月中旬のコロナワクチン接種率を示したもので、**世代差が生じています**。その一因として、**健康被害情報**について使えないと入ってくる**情報が限定的になる**事が挙げられます。私はどの世代でも把握してもらおうよう接種券の案内に具体的な健康被害情報を記載するよう市に要望しています。また、**乳幼児接種**に関しては、秋接種から接種券一律送付を止め希望申請制へと変わり、私の提言が通りました。

市として、市民に健康被害情報の**周知徹底**と**健康被害が生じた際のアフターフォロー**をしっかりと行うよう議会で提言しています。

3. 副反応と思ったらまずは相談を

コロナワクチン接種の健康被害は様々です。一部をご紹介します。

- ・急性心筋炎
- ・急性心筋梗塞
- ・くも膜下出血
- ・大動脈解離
- ・急性循環不全
- ・脳血管障害
- ・頭部円形脱毛症
- ・ギランバレー症候群
- ・I型糖尿病
- ・多関節炎
- ・带状疱疹 等々

本市でも健康被害救済制度への進達数が増加しています。ワクチン副反応と疑ったら、かかりつけ医や市の**保健福祉課**等にご相談下さい。



学力格差は連携で防げ!!

一貫教育の取組み強化

コト・モノの体験、非認知能力の向上



1. 市の学力課題等の現状

- ・小学校 令和4年、令和5年度、国語、算数ともに全国平均とほぼ同等
- ・中学校 全国平均より低く、横ばい傾向
- ・小中の共通課題

①「学校以外で勉強する時間」が少ない。
②「自分には、良いところがある。」と答える児童生徒の割合が全国平均よりも低い。
(全国学力・学習状況調査結果、議会で市答弁より抜粋)

市の危機管理は適切か? の活かされない大阪北部地震の教訓 甘い危機管理の実態

令和5年6月の議会において、**市が災害対策本部訓練を2年間も実施していないこと**について指摘しました。

危機管理において災害等の有事に活躍できなければ意味がありません。訓練は有事において適切に行動できるかを検証し、また災害時の対応力を向上させる**市民の命を守る重要な取組み**です。

市はその事を認識しているにも関わらず、2年間も災害対策本部訓練を実施していません。その大きな理由は、計画修正ができていないとの事で、私は文書作りが目的化しているのではと指摘しました。

以前から、いつ災害が起きても対応できるように訓練と計画は同時並行的に進めるべきと提言していますが、**市の危機管理業務は不十分**と言わざるを得ない状況です。



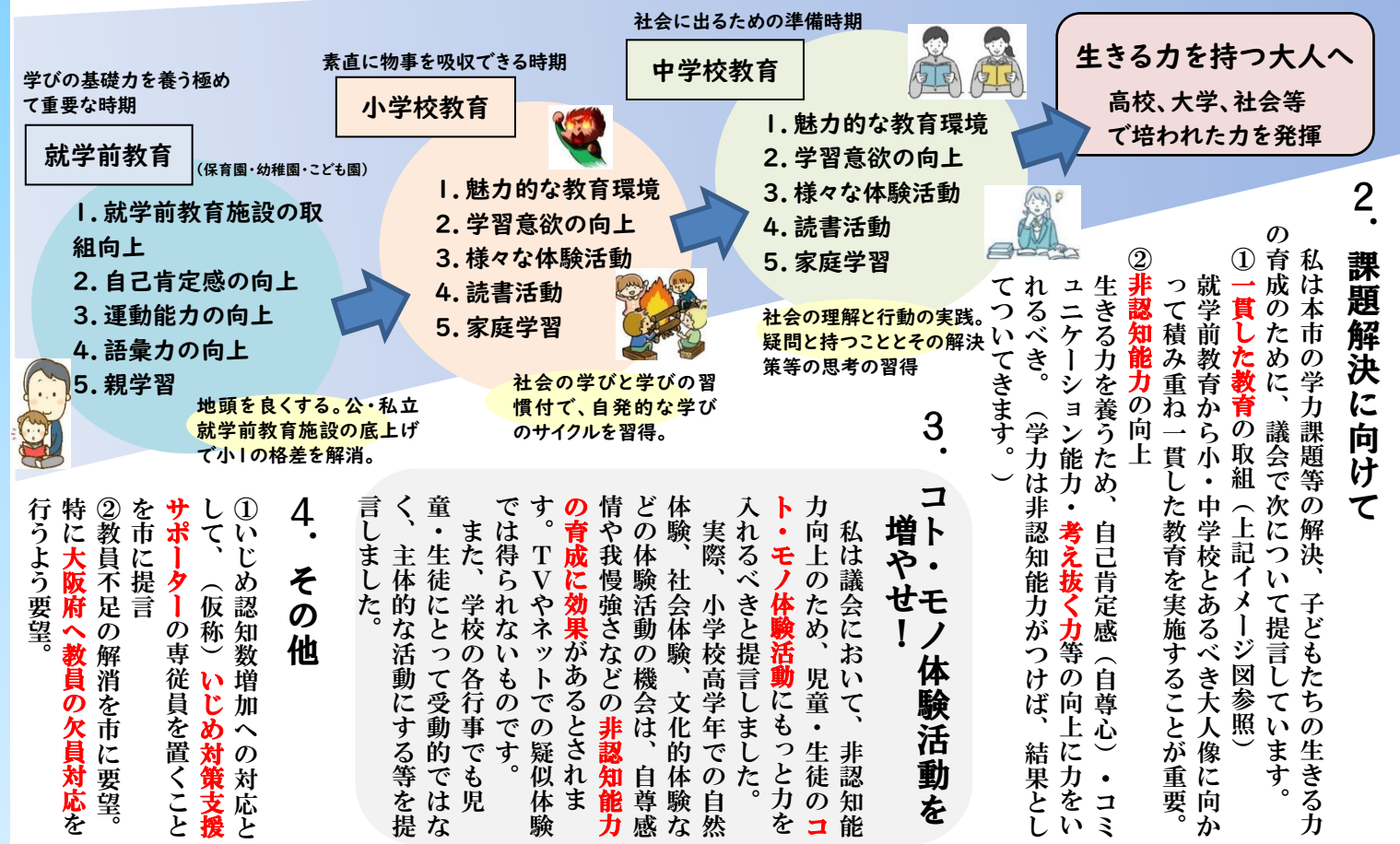
市民の命を守るために、市に適切な危機管理を求める!!

市の不十分な危機管理に関して、6月と9月議会にて繰り返し是正を求めました。

1. 大阪北部地震の教訓（訓練実施の必要性）を活かすこと。
2. 災害対策本部訓練を行うこと。
3. 年度計画を立てて訓練を必ず実施すること。
4. 職員の防災意識の維持・高揚を図ること。



<保幼小中の一貫した教育要領イメージ図(一例)>



進んでいるの? PFOA対策 国や市の現状の取組み

3. 市の状況

1. 国の状況

PFOS、PFOAに関するQ&A集 2023年7月時点

環境省 PFASに対する総合戦略検討専門委員会

PFOAに関して昨今、TVでも取り上げられる等一層の注目される状況を踏まえ、議会で質疑しました。

国は次について対策を進めています。

① PFOAの除去技術の開発等をテーマとした研究。
② 農作物へのPFOA等の移行に関する基礎研究。
③ PFASに対する総合戦略検討専門会議の設置。
④ 同会議監修のもと、「PFOS, PFOAに関するQ&A集」を作成。

2. 関係企業の状況

私は、今年6月に議会の民生常任委員会の委員として、ダイキン工業を視察し、遮水壁に関する説明を受けました。

① 当該企業は、**遮水壁の設置工事**に向けた準備を行っています。
② 遮水壁は当該企業の敷地を囲む形で設置し、地下水を敷地内に留め、PFOAの地域周辺への**浸透を防止**することを計画しています。

イメージ写真 実際は真に地面へ打ち込まれます。

① 市と議会は、直接・大阪府等を通じて、国に対して早期に人の健康への影響について、科学的な知見の集積に努めるとともに、調査研究及びガイドラインの作成等を要望してきました。

そして**国の専門家会議が設置**された経緯に、**自治体からの目標値等の検討の対策を求める**ことがあったと明記されました。

② 市は、今後も国、大阪府等から新たに情報が得られた場合には適宜、市のホームページを更新し、**情報発信**に努めるとのことです。

私は9月議会において、**風評被害**等の混乱を引き起こさぬよう留意しつつ、市民の**不安解消**のため、国・府・当該企業へ引き続きPFOA対策を求め、かつ連携するよう要望しました。

6月議会の一般質問